

各 位

平成 22 年 7 月 14 日
SBI ベリトランス株式会社

**海外向け EC モール「JSHOPPERS.com」を運営するナビバードと業務提携
～ 中国だけでなく、アジア・世界全域への EC インフラサービスの提供も視野に ～**

オンライン決済ソリューションを提供する SBI ベリトランス株式会社(東京都港区 代表取締役: 沖田 貴史 以下、「SBI ベリトランス」)は、日本商品を海外向けに販売する BtoC の EC モール「JSHOPPERS.com」を運営する株式会社ナビバード(大阪府中央区、代表取締役社長: 山中和也、以下「ナビバード」)と業務提携をし、中国人消費者向け EC モール「佰宜杰.com(バイジェイドットコム)」のサポート及び運用体制の強化を致しました。

SBIベリトランスは、中国人訪日客向けに日本における銀聯カード加盟店を紹介するショッピングナビゲーションサイト「杰街同步(ジェイジェストリート)」(<http://www.ij-street.com/>)の運営(2008年11月～)を皮切りに、主に中国を対象とした海外展開に注力しております。2009年1月には、銀聯カード決済に対応したサービス(「VeriTrans銀聯ネット決済」)の提供を香港、中国を除いて世界で初めて開始し、また、同決済を使った中国人消費者向けECモール「佰宜杰.com(バイジェイドットコム)」(<http://www.buy-j.com/>)の運営も行っております。

さらに、2009年4月には SBI ベリトランスが発起人となり、アジア向けの EC 展開を考える事業者を支援するコンソーシアム、「E Commerce for Asia Alliance」(略称「ECAA」)を設立するなど、EC のグローバル展開を積極的に推し進めてまいりました。

ナビバードは、日本商品を海外向けに販売する EC モール「JSHOPPERS.com」の運営を行っており、本モールを通じて"Made in Japan"や"Japanese Quality"の良さを現地の個人消費者に紹介しております。「JSHOPPERS.com」は、台湾、香港、シンガポールなどのアジア地域からオーストラリア、イギリス、アメリカなどの世界 60 カ国の現地在住日本人や富裕層に利用されています。

このたび SBI ベリトランスは、世界各国でのグローバル EC 事業におけるノウハウを有するナビバードと業務提携することで、中国のみならずアジア・世界全域への EC インフラサービスの提供を実現することが可能となります。第一弾として、2010年7月1日より佰宜杰.com(バイジェイドットコム)の一部運用をナビバードに委託し、サポート及び運用体制の強化を致しました。

また、次のステップとして決済、物流、及びその他業務においても今後協業し、世界全域に向けた EC インフラサービスの展開において包括的な提携を進めて行く予定です。

SBI ベリトランスは、今後も EC インフラサービスにおけるグローバル展開を積極的に行い、EC における海外展開を目指す事業者を支援してまいります。

【株式会社ナビバードについて】

会社名： 株式会社ナビバード

代表者： 代表取締役社長 山中和也

資本金： 8,032 万円

設 立： 2004 年 7 月 28 日

所在地： 大阪市中央区久太郎町 2-5-12 八木春久太郎ビル 2F

U R L: <http://www.navibird.co.jp/jp/index.html>

【本件に関するお問い合わせ先】

SBI ベリトランス株式会社 コーポレートブランディング室 担当： 伊藤 / 山口 (IR)

Tel: 03-6229-0850(代表) Email: pr@veritrans.co.jp